

# CASBEE<sup>®</sup> 新築 [簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 I使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.4)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	特別養護老人ホームふるさと		階数	地上5F
建設地	京都府京丹後市		構造	RC造
用途地域	区域区分非設置		平均居住人員	170 人
気候区分			年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院		評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年3月	予定	評価の実施日	2011年9月20日
敷地面積	1,916 m <sup>2</sup>		作成者	飯田
建築面積	868 m <sup>2</sup>		確認日	
延床面積	3,674 m <sup>2</sup>		確認者	

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シート上の保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 0.8</b> ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100% ②建築物の取組み 88% ③上記+②以外のオンサイト手法 88% ④上記+オフサイト手法 88%</p> <p>(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p>	<p>Q2 サービス性能: 5 Q1 室内環境: 4 Q3 室外環境(敷地内): 3 LR1 エネルギー: 2 LR2 資源・マテリアル: 1 LR3 敷地外環境: 1</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> Q のスコア = 2.7</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア = 2.9</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア = 3.4</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> Q3のスコア = 1.7</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> LR のスコア = 3.0</p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア = 2.9</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア = 3.0</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア = 2.9</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b> 全室個室とし療養環境向上とプライバシー確保に努める。設備的には、居室窓を2重ガラスとし空調の各室コントロール、強制集中制御等、無駄なエネルギーを制御、監視出来るようにした。1フロアー、2ユニット(1ユニット:10名)の小さな介護単位とした。</p>		<p><b>その他</b> 0</p>
<p><b>Q1 室内環境</b> 冷媒インバーター制御。壁断熱・窓(2重ガラス)。各階+省状態による他、冷暖同時運転。サーモスタット・ヒューミディスタット制御。各室コントロール+強制集中制御。各室別24時間空調。集中コントローラー・状態表示。直火吸気式二重効用冷水機。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> バリアフリー法、福祉のまちづくり条例、を満たしている。空調・換気設備の、手元・集中監視を複数台設置。パイプスペースによる配管類のメンテナンス性の向上</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> バルコニーを設け療養環境と安全面の向上。光や風を取入れた快適な空間づくり</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b> 各階に集中監視装置を設置し無駄なエネルギーを制御。集中監視装置で監視</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> 新冷媒R410Aを使用</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> 空調換気の全ての機器類に防振装置</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照された